

平成17年度における運用状況

○ 平成17年度(平成17年4月～平成18年3月)の運用環境

平成17年度の国内経済は、景気の回復がより鮮明となり、消費者物価(生鮮食品を除く)が年度後半には安定的にプラスとなったことから、3月には日銀の量的緩和政策が解除されるなど、力強さを取り戻した年となりました。この結果、国内株式は大幅に上昇し、国内債券は金利が緩やかな上昇基調をたどったことから小幅のマイナスとなりました。

また、海外では、引き続き好調な景気動向に加え、為替レートが円安に動いたことから、外国株式は大幅に上昇し、外国債券は円安の影響でプラスとなりました。

なお、基金が保有する各資産のベンチマーク・インデックスの推移は、別添のとおりとなっています。

○ 平成17年度のポートフォリオ別の運用状況(決算整理前)

1 被保険者ポートフォリオ

被保険者及び待期者に係る資産の運用状況は、上記の運用環境を反映し、次表のとおり、平成17年度末の時価総額は826.2億円となり、平成17年度の総合収益は66.0億円、修正総合利回りは年9.80%となりました。

なお、運用収益を運用開始(平成14年2月)以降の累計でみた場合、平成17年度末では95.8億円となりました。

(単位:百万円、%)

資 産	平成16年度末 時価総額 ①	平成17年度保険料・ 国庫補助投下額②	計 ③(①+②)	平成17年度末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	平成17年度総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	43,270	13,988	57,258	57,192	69.2	-66	-0.14
国内株式	9,081	641	9,722	14,581	17.6	4,859	49.88
外国債券	2,192	126	2,318	2,510	3.0	193	7.83
外国株式	5,765	792	6,557	8,219	9.9	1,662	27.68
短期資産	-92	254	162	117	0.1	-45	-21.62
合 計	60,216	15,801	76,017	82,619	100.0	6,603	9.80

(注) 1. 外国資産に係る保管手数料及び外貨流動性預金に係る為替差損益等は、「短期資産」欄で整理しています。

2. 「平成16年度末時価総額①」欄の「短期資産」にあるマイナス表示は、平成16年度決算に基づき、被保険者危険準備金ポートフォリオへ214百万円の繰入(付利準備金繰入143百万円、調整準備金繰入71百万円)を行っているためです。

3. 「平成17年度保険料・国庫補助投下額②」欄の「合計」の計数には、裁定された年金等に係る資金を、受給権者ポートフォリオ等へ繰入れた額等を含みます。

4. 単位未満を四捨五入しているため、合計欄で合わない場合があります(以下同じ)。

2 被保険者危険準備金ポートフォリオ

平成17年度における被保険者及び待期者に係る付利準備金及び調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

区 分	資 産	平成16年度末 時価総額 ①	平成17年度繰入額②	計 ③(①+②)	平成17年度末 時価総額 ④	平成17年度総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
付利準備金	短期資産	288,001	87	288,088	288,171	83	0.03
調整準備金	短期資産	143,372	-388	142,984	143,026	41	0.03
合 計		431,373	-301	431,072	431,197	125	0.03

(注)「平成17年度繰入額②」欄の計数には、裁定された年金等に係る資金を、受給権者危険準備金ポートフォリオへ繰入れた額等を含みます。

3 受給権者ポートフォリオ

平成17年度における受給権者に係る資産の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

資 産	平成16年度末 時価総額 ①	平成17年度繰入額②	計 ③(①+②)	平成17年度末 時価総額 ④	平成17年度総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	33,443	24,895	58,339	57,427	-911	-2.08
短期資産	-466	3,449	2,983	2,983	0	0.00
合 計	32,977	28,344	61,321	60,410	-911	-1.95

(注) 1. 「平成16年度末時価総額①」欄の「短期資産」にあるマイナス表示は、平成16年度決算に基き、受給権者危険準備金ポートフォリオへ2,825千円の繰入を行っているためです。

2. 「平成17年度繰入額②」欄の「合計」の計数には、裁定された年金に係る資金を、被保険者ポートフォリオから受入れた額等を含みます。

4 受給権者危険準備金ポートフォリオ

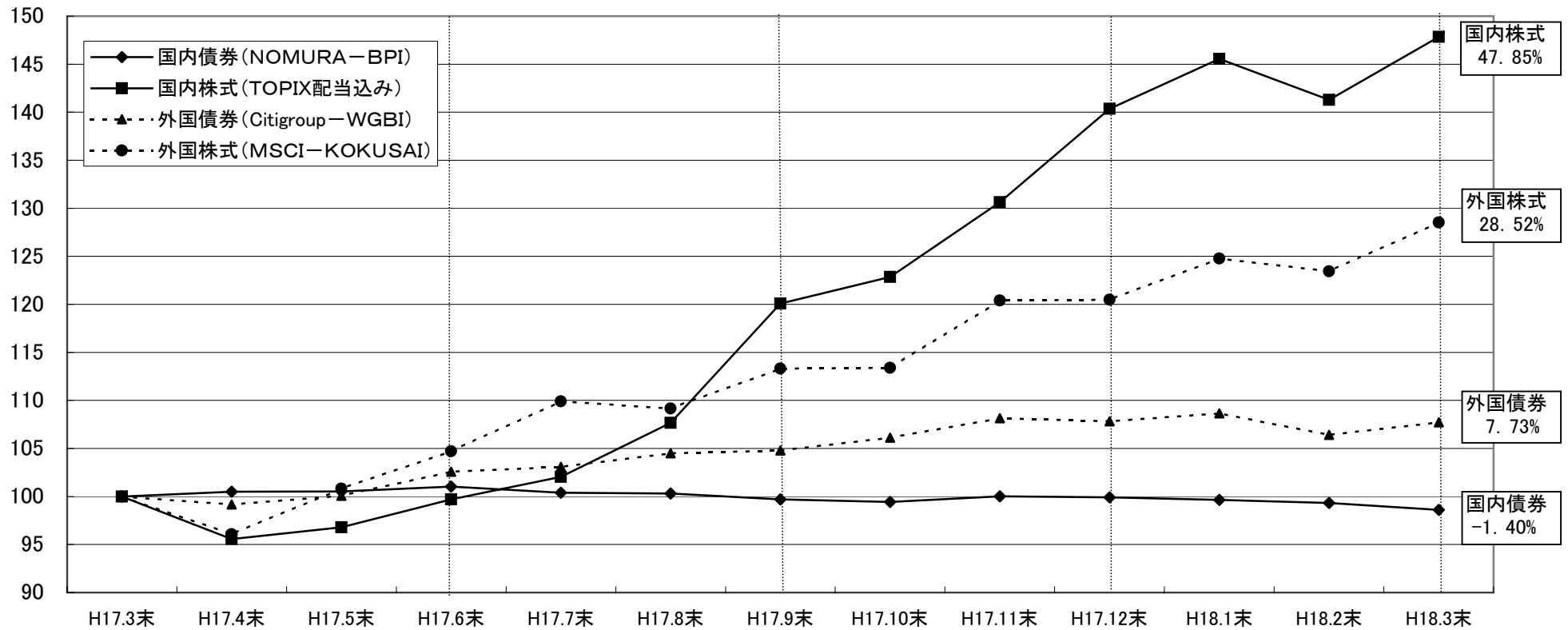
平成17年度における受給権者に係る調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

区 分	資 産	平成16年度末 時価総額 ①	平成17年度繰入額②	計 ③(①+②)	平成17年度末 時価総額 ④	平成17年度総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
調整準備金	短期資産	23,906	21,997	45,903	45,909	6	0.02

(注)「平成17年度繰入額②」欄の計数には、裁定された年金等に係る資金を、被保険者ポートフォリオ等から受入れた額を含みます。

ベンチマーク・インデックスの推移 (H17.3末=100)



○ベンチマーク騰落率

	平成17年4月～平成18年3月
国内債券 (NOMURA-BPI総合)	-1.40%
国内株式 (TOPIX配当込)	47.85%
外国債券 (Citigroup-WGBI)	7.73%
外国株式 (MSCI-KOKUSAI)	28.52%

○運用環境

	平成17年3月末	平成17年6月末	平成17年9月末	平成17年12月末	平成18年3月末
国内債券 (新発10年国債利回り)	1.320 %	1.165 %	1.474 %	1.469 %	1.764 %
(NOMURA-BPI総合)	299.667 ポイント	302.746 ポイント	298.774 ポイント	297.927 ポイント	295.479 ポイント
国内株式 (日経225)	11,668.95 円	11,584.01 円	13,574.30 円	16,111.43 円	17,059.66 円
(TOPIX配当込)	1,359.22 ポイント	1,355.02 ポイント	1,632.15 ポイント	1,669.66 ポイント	2,009.57 ポイント
外国債券 (米国10年国債利回り)	4.486 %	3.917 %	4.330 %	4.399 %	4.853 %
(Citigroup-WGBI)	283.20 ポイント	290.53 ポイント	296.74 ポイント	300.55 ポイント	305.09 ポイント
外国株式 (NYダウ)	10,503.76 ドル	10,274.97 ドル	10,568.70 ドル	10,717.50 ドル	11,109.32 ドル
(MSCI-KOKUSAI)	1,126.386 ポイント	1,179.276 ポイント	1,276.212 ポイント	1,277.305 ポイント	1,447.614 ポイント

専門用語の解説

○ ポートフォリオ

もともと、折りかばんを意味するものであったが、投資家が保有資産をさまざまな証券(銘柄)で組み合わせて保有していることから転じて、証券分析においては、種々の有価証券を組み合わせたもの。

○ 総合収益

期間中に発生した債券利息、株式配当金や債券・株式の売買損益といった実現収益だけではなく、株価変動等による評価損益の増減や未収収益の増減を加味した時価ベースの収益。

○ 修正総合利回り

運用成果を測定する尺度の1つ。

総合収益を反映し、運用元本に時価の概念を加味した収益率のことで、算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す際に、時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として広く普及。

(計算式)

$$\text{修正総合利回り} = \frac{\text{実現収益} + \text{評価損益増減(当期末評価損益} - \text{前期末評価損益)} + \text{未収収益増減(当期末未収収益} - \text{前期末未収収益)}}{\text{運用元本平均残高} + \text{前期末評価損益} + \text{前期末未収収益}}$$

○ ベンチマーク

運用成果を評価する際に、相対比較の基準となる指標。

運用収益率の絶対値の高低による評価は、投資環境の違いを反映せず、運用期間が異なる場合に、その比較が不可能である。しかし、投資環境を反映する指標(TOPIX等)があれば、指標に対してどの程度上回る収益率を達成できたかを算出することにより、運用期間の異なるものとの比較が可能。

* NOMURA-BPI総合

野村証券金融経済研究所が作成・発表している国内債券市場の指標。国内債券の指標としては代表的なものであり、基金もベンチマークとして採用。

* TOPIX(配当込)

東証一部上場全銘柄の株価を株式数で加重平均して算出したもの。国内株式市場の代表的な指標であり、基金もベンチマークとして採用。

* Citigroup-WGBI(除く日本)

シティグループが作成・発表している世界国債の指標。時価総額につき一定基準を満たす世界の国債について、投資収益率を指数化したもの。外国債券投資の指標としては代表的な存在。基金も外国債券のベンチマークとして採用。

* MSCI-KOKUSAI(配当込)

モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社が作成・発表している日本を除く主要国で構成された外国株式指数。対象国の包括性、切り口の多様性等の点で、外国株式投資の指標としては代表的な存在。基金も外国株式のベンチマークとして採用。